

## 第62回 宮城県災害対策本部会議 議事要旨

### 1 日 時

平成23年4月22日 10時00分

### 2 場 所

県庁行政庁舎4階 庁議室

### 3 配布資料

第62回宮城県災害対策本部会議資料

### 4 議事要旨

#### ○阿久津内閣府大臣政務官

- ・本日より一週間程度東京に戻り、現地の状況を伝えてくる。
- ・現在様々な作業が行われており、市町村ごとの得意・不得意が出てきて要望も多様化してきている。これを踏まえ、県と国が一緒になり市町村をサポートしていきたい。
- ・個人的な意見として、視察等でも県と合同で行く機会があってもよいのかなと考えている。

#### ○小野寺危機管理監

- ・被害の状況について、死者は8,396人、行方不明者は6,955人である。
- ・名取市の精査の結果、行方不明者が1,000人から231人に減少している。

#### ○今野総務部長

- ・前日からの変更はなし。

#### ○伊藤震災復興・企画部長

- ・「企画部」から「震災復興・企画部」に変更になった。
- ・前日からの変更は特になし。

○小泉環境生活部長

- ・福島第一原子力発電所事故に係るモニタリング結果、ほぼ横ばいである。

○岡部保健福祉部長

- ・震災孤児について、名取市、石巻市各1名ずつ増加し、総勢53人である。
- ・ボランティアについて、昨日の報告では減ったが、また2,500人ほどの活動があった。

○河端経済商工観光部長

- ・特になし。

○千葉農林水産部長

- ・被害の状況については、前日と変更なし。
- ・東日本大震災により破損した冷凍・冷蔵庫の保管物について、海洋投入を4月11日から作業開始し、1万2千t処分、3万5千tの3分の1が終了した。
- ・段ボールや発砲スチロールに梱包されているもの、重油などの油に包まれている海洋投入できないものが2万t～3万tあり。この処分について、山形県の産業廃棄物埋立処分場で最終処分できることとなった。4月25日から1日当たり100tの搬入を開始予定である。
- ・有償であり、市町村に対し環境省から補助される。

○土木部

- ・港湾物流再開の動きについて、4月20日から松島港の大型観光栈橋が利用可能となり、29日から観光船定期航路再開予定。
- ・空港鉄道について、名取駅から美田園駅までを7月末を目途に暫定運行。全線運行再開は、9月を目標とする。

○自衛隊

- ・前日から大きな変更はなし。

○警察本部

- ・21日、ご遺体45体収容である。
- ・8,239体を引き渡して、引渡率95.9%である。
- ・「東日本大震災」に伴う警備体制の現状について、4月21日5,900人、宮城県3,900人、他県から特別派遣として2,000人が従事した。
- ・他県からの派遣部隊には、行方不明者捜索や交通の円滑化、ご遺体の検死、被災地警戒活動など多大なご支援をいただいている。昨年より事件・事故数減少している。
- ・引き続き行方不明者の捜索と被災地等県下全体の治安維持に全力を行う。

○東北電力(株)

- ・停電戸数81,746戸、停電率6%である。
- ・感電事故防止の為、「電線に注意しましょう。」チラシを瓦礫撤去の現場などで配布する。

○教育委員会

- ・特になし。

○伊藤企業局長

- ・昨日、全事業所に対して供給を再開したが、まもなく漏水が発生し、2事業所送水停止した。昨晚には復旧が終わり、今日中には送水が開始できる見込み。
- ・本震及び余震により施設が弱っているため、パトロールにて巡視していきたい。

○村井災害対策本部長

- ・明日、「第2回 東日本大震災復興構想会議」に出席するため日曜まで不在である。
- ・日曜の昼頃戻る予定。
- ・お花見のシーズンであるが、観光客が減少しているため困っている。無論災害対策が最優先であるが、GW等余裕のある人は外に出て、県内の観光地に行ってほしい。

次回は4月23日10時00分に開催する。